

# 視聴覚教育

NO. 399  
発行日  
26.1.31

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会  
学習情報部

## 21世紀型授業に生きる岡崎の視聴覚教育

現職研修委員会学習情報部長

入山定之

「反転授業」という言葉をご存じだろうか。今までの講義式授業をオンライン教材化することで家庭学習にする。逆に家庭学習にしていたドリル学習や応用課題を教室で行う形態の授業である。つまり、協働的な学習の前提となる基礎的な学習はICTを活用して予習させ、学校の授業ではそれを前提として、応用問題に取り組んだり、グループで課題を解決したりする授業スタイルである。予備校を中心に徐々に導入が進められてきたが、タブレット端末の普及とともに小中学校へも広がりを見せている。

「反転授業」は、あくまで教育方法の一形態に過ぎない。大切なのは、子供の学びが深まることである。このような授業スタイルの最大のメリットは、今までの教師による一方的な講義形式の授業とは異なり、学習者の能動的な授業参加を推進できるところにある。例えば、子供たちが自分たちで実験を行い、その結果をタブレット端末でまとめて発表する。学級全体で電子情報ボードに転送されたデータを見ながら検証していく。また、資料から課題を見つけその解決について、タブレット端末で根拠を示しながら討論をしていく。学習者中心の授業が展開されることから、21世紀型授業として注目されている。

### 視聴覚用語 『4K』

約4,000×2,000ピクセルの解像度をもつ映像規格の略称。フルハイビジョンよりもさらに高精細なことから、4Kテレビが注目を集めている。2014年中には、日本国内においても4K放送が開始される予定である。

このような授業を進めていく上で、いちばん重要なことは、教師の授業デザイン力やICT活用

力、教材作成力である。学習内容をどのように教材化し、家庭学習に生かすことのできるコンテンツにするか。それを受けて、学校の授業では、どのような協働的な授業をデザインするのか。新しい授業構想力が教師に求められることになる。21世紀型授業を行うには、教師の変革は欠かせない。

今年度も「ふるさと岡崎メディアコンクール」の応募作品が二〇〇を超えたと聞いた。岡崎市には、それだけ自作教材の価値を認識し、制作する情熱と技術を持った方が多くいる。特に、ビデオ作品は、綿密な取材や観察活動に裏付けされた説得力のある作品が多数あり、授業での有効活用が期待される。また、生涯学習部門や学校教育部門

だけでなく、児童生徒部門にも一〇〇を超える応募作品があったことも、岡崎の視聴覚教育の裾野の広さを物語っている。そして、「おかぎき映像教材研究会」も毎年全国コンクールで高い評価を得ており、今年度も六作品が完成した。岡崎の教育には、21世紀型授業に必要な高いICT活用

力や教材作成力が根付いている。二〇一四年もこの伝統と下地を土台に、新しい教育がより発展することを期待したい。

### II 視聴覚教育あれこれ

● 視聴覚ライブラリーの教材を使って授業を！

学習情報部教科部会の先生方が、各校で視聴覚ライブラリーの教材を活用した実践を行いました。その一部を紹介いたします。

☆ 学年・教科 『単元名』

◇ 使用した教材

☆ 小三・国語 『もうどう犬の訓練』

◇ 「しごとライブラリー」(動物シリーズ)

犬訓練士

☆ 小三・社会 『かわってきた人びとのくらし』

◇ 「くらしのうつりかわりシリーズ」

かわってきたわたしたちのくらし

☆ 小四・保健体育 『育ちゆく体とわたし』

◇ 「小学生のための性教育シリーズII」

☆ 小五・理科 『人のたんじょう』

◇ 「小学校理科ビデオシリーズ」

動物や人のたんじょう

☆ 中三・総合 『共生社会に生きる君たち』

◇ 「障害者と補助犬の生活から学ぶやさしい気持ち、いたわりの心3【聴導犬編】」

☆ 中学特別支援・理科 『進化のひみつを探ろう』

◇ 「BBCアッテンボローがみた地球の多様な生物種を未来へ」第1巻 危機は今、

そこにあるのか IS THERE A CRISIS?

この他にも視聴覚ライブラリーには、子供の学びを深める教材や機材がたくさん用意されています。特に、映像教材は巡回郵便での貸出・返却もできますので積極的に授業でご利用ください。



